

日本特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

21.05.01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2000年 5月22日

RECD 06 JUL 2001

WIPO

出願番号
Application Number:

特願2000-149167

出願人
Applicant(s):

株式会社ピーエフユー

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

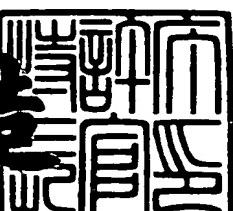
PRIORITY
DOCUMENT

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2001年 6月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3053753

【書類名】 特許願
【整理番号】 P990277
【提出日】 平成12年 5月22日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 17/00
【発明者】
【住所又は居所】 石川県河北郡宇ノ気町字宇野気又98番地の2 株式会社ピーエフユー内
【氏名】 宮村 和俊
【発明者】
【住所又は居所】 石川県河北郡宇ノ気町字宇野気又98番地の2 株式会社ピーエフユー内
【氏名】 屋敷 光宏
【特許出願人】
【識別番号】 000136136
【氏名又は名称】 株式会社ピーエフユー
【代理人】
【識別番号】 100095072
【弁理士】
【氏名又は名称】 岡田 光由
【電話番号】 03-3807-1818
【選任した代理人】
【識別番号】 100074848
【弁理士】
【氏名又は名称】 森田 寛
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 012944
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9708176

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ファイル生成装置及びプログラム記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ファイルを生成して、それをファイル掲示装置に登録するファイル生成装置において、

上記ファイル掲示装置に登録したファイルへのフルパス情報の記述と、該ファイルを操作する所定の機能を呼び出すための記述とを含むURL表記を生成する生成手段と、

上記URL表記について記述するファイル登録情報を送信先に送信する送信手段とを備えることを、

特徴とするファイル生成装置。

【請求項2】 請求項1記載のファイル生成装置において、

上記送信手段は、上記URL表記について記述するファイル登録情報を電子メールを使って送信先に送信することを、

特徴とするファイル生成装置。

【請求項3】 請求項1又は2記載のファイル生成装置において、

上記生成手段は、ファイル名の変更機能及び／又は格納先フォルダの変更機能を呼び出すための記述を含むURL表記を生成するように処理することを、

特徴とするファイル生成装置。

【請求項4】 ファイルを生成して、それをファイル掲示装置に登録するファイル生成装置の実現に用いられるプログラムが記録されるプログラム記録媒体であって、

上記ファイル掲示装置に登録したファイルへのフルパス情報の記述と、該ファイルを操作する所定の機能を呼び出すための記述とを含むURL表記を生成する生成処理と、

上記URL表記について記述するファイル登録情報を送信先に送信する送信処理とをコンピュータに実行させるプログラムが記録されることを、

特徴とするプログラム記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ファイルを生成して、それをファイル掲示装置に登録するファイル生成装置と、その装置の実現に用いられるプログラムが記録されるプログラム記録媒体とに関し、特に、ユーザが登録ファイルを操作性よく取り扱えるようにするファイル生成装置と、その装置の実現に用いられるプログラムが記録されるプログラム記録媒体とに関する。

【0002】

【従来の技術】

Webファイリングシステムは、ファイル生成装置から登録要求のあるファイルを受け取ると、それを指定されるフォルダに格納する構成を探って、Webブラウザを介してユーザから閲覧要求があると、それを掲示していくという処理を行っている。

【0003】

一方、ファイル生成装置は、Webファイリングシステムにファイルを登録すると、図6に示すように、そのファイルを利用する可能性のあるユーザに対して、そのWebファイリングシステムのURL表記と、そのファイルのファイル名と、そのファイルの格納先フォルダとについて記述する電子メールを送信していくことで、そのファイルの利用が図られるように処理している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

このファイル生成装置からの電子メールを受け取ると、ユーザは、Webブラウザを使って、その登録されたファイルを閲覧していくことになるが、ファイル生成装置が日時情報などを使って適当なファイル名を割り付けたり、ファイル生成装置がWebファイリングシステムの持つテンポラリなフォルダを格納先として指定する構成を探っていることから、通常、それらのファイル名や格納先となるフォルダを利用し易いものに変更していくことになる。

【0005】

しかしながら、図6に示すような電子メールを送信するという従来技術に従っ

ていると、ユーザは、Webファイリングシステムに登録されたファイルのファイル名や格納先フォルダを簡単に変更できないという問題点がある。

【0006】

すなわち、図6の電子メールに記述されるURL表記がクリックされると、Webファイリングシステムは、先ず最初に、図7に示すような初期画面を表示する。

【0007】

続いて、その初期画面の中から電子メールに記述される格納先フォルダがクリックされると、Webファイリングシステムは、そのフォルダに格納されるファイル名の一覧と、そのファイルに対する操作メニューとを表示する図8に示すような操作メニュー画面を表示する。

【0008】

続いて、その操作メニュー画面の中からファイル名や格納先フォルダの変更を指示する操作が選択されると、Webファイリングシステムは、ファイル名や格納先フォルダの変更に用いる図9に示すような操作画面を表示して、それに対する入力値を受け取ることで、ファイル名や格納先フォルダを変更する。

【0009】

これにより、例えば、「MarsLAN-test」というフォルダに格納されていた「id 00903739」というファイル名のファイルは、図10に示すように、ファイル名が「打ち合わせ議事録」に変更され、格納先フォルダが「Folder 1」に変更されることになる。

【0010】

従って、ユーザは、Webファイリングシステムに登録されたファイルのファイル名や格納先フォルダを変更する場合には、図7の初期画面の中から、電子メールに記述される格納先フォルダをクリックすることで図8の操作メニュー画面を表示し、続いて、この操作メニュー画面の中からファイル名や格納先フォルダの変更を指示する操作を選択することで図9の操作画面を表示していくことで、ファイル名や格納先フォルダの変更を行わなければならず、ファイル名や格納先フォルダを簡単に変更できないのである。

【0011】

本発明はかかる事情に鑑みてなされたものであって、ユーザが登録ファイルを操作性よく取り扱えるようにする新たなファイル生成装置の提供と、その装置の実現に用いられるプログラムが記録される新たなプログラム記録媒体の提供とを目的とする。

【0012】**【課題を解決するための手段】**

この目的を達成するために、本発明のファイル生成装置は、ファイルを生成して、それをファイル掲示装置に登録する構成を探るときにあって、ファイル掲示装置に登録したファイルへのフルパス情報の記述と、そのファイルを操作する所定の機能を呼び出すための記述とを含むURL表記を生成する生成手段と、そのURL表記について記述するファイル登録情報を電子メールなどを使って送信先に送信する送信手段とを備えるように構成する。

【0013】

このように構成される本発明のファイル生成装置では、生成手段は、ファイル掲示装置に登録したファイルへのフルパス情報の記述と、そのファイルを操作する所定の機能（例えばファイル名の変更機能や格納先フォルダの変更機能）を呼び出すための記述とを含むURL表記を生成し、これを受けて、送信手段は、そのURL表記について記述するファイル登録情報を電子メールなどを使って送信先に送信する。

【0014】

これから、そのファイル登録情報の通知を受け取るユーザは、そのファイル登録情報に記述されるURL表記をクリックするだけで、ファイル名の変更機能や格納先フォルダの変更機能などの機能を直接呼び出すことができるようになるので、ファイル名や格納先フォルダなどを簡単に変更できるようになる。

【0015】

このようにして、本発明によれば、ユーザがファイル掲示装置に登録されたファイルを操作性よく取り扱えるようになる。

【0016】

【発明の実施の形態】

以下、LANに接続されるWebファイリングシステムに適用した実施の形態について本発明を詳細に説明する。

【0017】

図1に、本発明の一実施形態例を図示する。

【0018】

図中、1はファイル情報を掲示する処理を行うWebファイリングシステム、2はWebファイリングシステム1にイメージデータのファイルを登録する本発明を具備するイメージスキャナ、3はWebブラウザ30を使ってWebファイリングシステム1に登録されるイメージデータなどのファイルを閲覧する端末、4は電子メールのサーバ機能を司るメールサーバ、5はWebファイリングシステム1とイメージスキャナ2と端末3とメールサーバ4との間を接続するLANである。

【0019】

このWebファイリングシステム1は、端末3に掲示するファイルを管理するファイル管理機構10と、ファイル管理機構10の管理するファイルに対してインタラクティブな処理を行うとともに、図示しないWebサービス機能を使って、それらのファイルを端末3に掲示する処理を行うCGIプログラム11と、イメージスキャナ2から転送されてくるファイルを受け取るFTPサービスプログラム12とを備える。

【0020】

一方、本発明を具備するイメージスキャナ2は、イメージデータを読み取ってファイルを生成するイメージスキャナ機構20と、イメージスキャナ機構20の生成するファイルをWebファイリングシステム1に登録するファイル登録プログラム21と、ファイル登録プログラム21の指示に応答して、登録対象のファイルをWebファイリングシステム1に転送するFTPクライアントプログラム22と、ファイル登録プログラム21の指示に応答して、端末3に対して、電子メールを使ってファイルの登録情報を送信するメール送信プログラム23とを備える。

【0021】

ここで、本発明を具備するイメージスキャナ2に展開されるファイル登録プログラム21やFTPクライアントプログラム22やメール送信プログラム23は、計算機が読み取り可能な半導体メモリなどの適当な記録媒体に格納することができる。

【0022】

図2に、イメージスキャナ2に展開されるファイル登録プログラム21の実行する処理フローの一実施形態例、図3に、端末3に展開されるWebブラウザ30の実行する処理フローの一実施形態例を図示する。

【0023】

次に、この処理フローに従って、本発明を具備するイメージスキャナ2の処理について詳細に説明する。

【0024】

イメージスキャナ2に展開されるファイル登録プログラム21は、イメージスキャナ2を操作するオペレータから、イメージスキャナ機構20の生成したファイルを指定してファイル登録要求が発行されると、図2の処理フローに示すように、先ず最初に、ステップ1で、日時情報などを使ってそのファイルに適当なファイル名を割り付け、続くステップ2で、そのファイルの格納先となるフォルダを決定する。

【0025】

ここで、格納先フォルダの決定については、例えば、Webファイリングシステム1からどのフォルダを格納先としてよいのかを通知してもらっておいて、そのフォルダを格納先として決定することで行う。

【0026】

続いて、ステップ3で、FTPクライアントプログラム22に対して、格納先フォルダを指定して登録対象のファイルの転送を指示する。この指示に応答して、FTPクライアントプログラム22は、登録対象のファイルをWebファイリングシステム1へ転送することで、その登録対象のファイルをWebファイリングシステム1に登録するので、続くステップ4で、そのファイル転送が完了するのを待つ。

【0027】

ステップ4で、登録対象のファイルがWebファイリングシステム1に登録されたことを判断すると、続いて、ステップ5で、割り付けたファイル名と決定した格納先フォルダとから定義される登録ファイルへのフルパス情報と、CGIプログラム11の提供する機能であるファイル名変更・フォルダ移動の操作を呼び出すための記述とを含む、その登録ファイルのURL表記を生成する。

【0028】

続いて、ステップ6で、メール送信プログラム23に対して、生成したURL表記について記述する電子メールの送信を指示して、処理を終了する。

【0029】

この指示を受けて、メール送信プログラム23は、Webファイリングシステム1に登録されたファイルのURL表記について記述する電子メールを生成して、それをメールサーバ4を介して端末3に送信していくように処理する。

【0030】

図4に、メール送信プログラム23により端末3に送信される電子メールの一実施形態例を図示する。

【0031】

この図に示すように、メール送信プログラム23により端末3に送信される電子メールは、図中の③に示すように、ファイル登録プログラム21により決定された登録ファイルへのフルパス情報の記述 (FilePath=/lab/MarsLAN-test/id00903739.tif) と、ファイル名変更・フォルダ移動の操作を呼び出すための記述 (scripts/PPP/Filer>ShowFmCGI.exe.....Command=RenMovNmdFilFm) とを含むURL表記について記述する。

【0032】

ここで、図中の①はWebファイリングシステム1のURL表記であり、②は登録されたファイルのURL表記である。なお、この2つのURL表記は従来技術でも記述されていたものである。

【0033】

この電子メールの送信を受けて、端末3を操作するユーザは、Webファイリン

グシステム1の初期画面を表示したいときには、①のURL表記をクリックし、登録されたファイルを閲覧したいときには、②のURL表記をクリックし、登録されたファイルのファイル名やフォルダを変更したいときには、③のURL表記をクリックする。

【0034】

これから、端末3に展開されるWebブラウザ30は、ユーザが電子メール中に記述される①のURL表記をクリックすると、Webサービスに処理依頼を発行することで、図3(a)の処理フローに示すように、Webファイリングシステム1の初期画面を表示して、その初期画面に対する操作に応じた処理を実行する。

【0035】

すなわち、Webサービスに処理依頼を発行することで、図7に示したようなWebファイリングシステム1の初期画面を表示し、その初期画面に対する操作に応じた処理を実行するのである。

【0036】

一方、端末3に展開されるWebブラウザ30は、ユーザが電子メール中に記述される②のURL表記をクリックすると、Webサービスに処理依頼を発行することで、図3(b)の処理フローに示すように、そのURL表記の指定するファイル(登録されたファイル)の閲覧画面を表示して、その閲覧画面に対する操作に応じた処理を実行する。

【0037】

一方、端末3に展開されるWebブラウザ30は、ユーザが電子メール中に記述される③のURL表記をクリックすると、CGIプログラム11に処理依頼を発行することで、図3(c)の処理フローに示すように、そのURL表記の指定するファイル(登録されたファイル)のファイル名を現在のファイル名とし、そのURL表記の指定するフォルダを現在のフォルダとするファイル名変更・移動操作画面を表示して、その操作画面に対する操作に応じて、登録されたファイルのファイル名を変更したり、登録されたファイルの格納先となるフォルダを移動(変更)する。

【0038】

すなわち、CGIプログラム11に処理依頼を発行することで、図5に示すようなファイル名変更・移動操作画面を表示して、その操作画面に対する操作に応じて、登録されたファイルのファイル名を変更したり、登録されたファイルの格納先フォルダを移動（変更）するのである。

【0039】

このようにして、従来技術であれば、ユーザは、Webファイリングシステム1に登録されたファイルのファイル名や格納先フォルダを変更する場合には、先ず最初に、図7の初期画面を呼び出し、続いて、この初期画面から図8の操作メニュー画面を表示し、続いて、この操作メニュー画面から図9の操作画面を呼び出していくことで、ファイル名や格納先フォルダを変更しなければならなかったのに対して、本発明によれば、直ちに、図5のファイル名変更・移動操作画面を呼び出すことが可能になることで、ファイル名や格納先フォルダを簡単に変更できるようになるのである。

【0040】

この実施形態例では、ファイル名変更・フォルダ移動の操作を呼び出すための記述を含むURL表記について記述する電子メールを端末3に送信していくことで、ファイル名変更・移動操作画面を直接呼び出していくことを開示したが、それ以外の操作を呼び出すための記述を含むURL表記について記述する電子メールを端末3に送信していくことで、ファイル名変更・移動操作画面以外の操作画面を直接呼び出していくということが可能になる。

【0041】

この構成を探るときには、ファイル登録プログラム21は、メニュー画面などを使って、どのような操作画面を直接呼び出せるようにするのかをオペレータに選択させるようにする構成を探ることが好ましい。

【0042】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、ファイル掲示装置に登録されたファイルの登録情報の通知を受け取るユーザは、そのファイル登録情報に記述されるURL表記をクリックするだけで、ファイル名の変更機能や格納先フォルダの移動

機能などの機能を直接呼び出すことができるようになるので、ファイル名や格納先フォルダなどを簡単に変更できるようになる。

【図4】

このようにして、本発明によれば、ユーザがファイル掲示装置に登録されたファイルを操作性よく取り扱えるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施形態例である。

【図2】

ファイル登録プログラムの実行する処理フローの一実施形態例である。

【図3】

Webブラウザの実行する処理フローの一実施形態例である。

【図4】

電子メールの一実施形態例である。

【図5】

Webファイリングシステムの操作画面の説明図である。

【図6】

従来技術の説明図である。

【図7】

Webファイリングシステムの初期画面の説明図である。

【図8】

Webファイリングシステムの操作メニュー画面の説明図である。

【図9】

Webファイリングシステムの操作画面の説明図である。

【図10】

Webファイリングシステムの操作メニュー画面の説明図である。

【符号の説明】

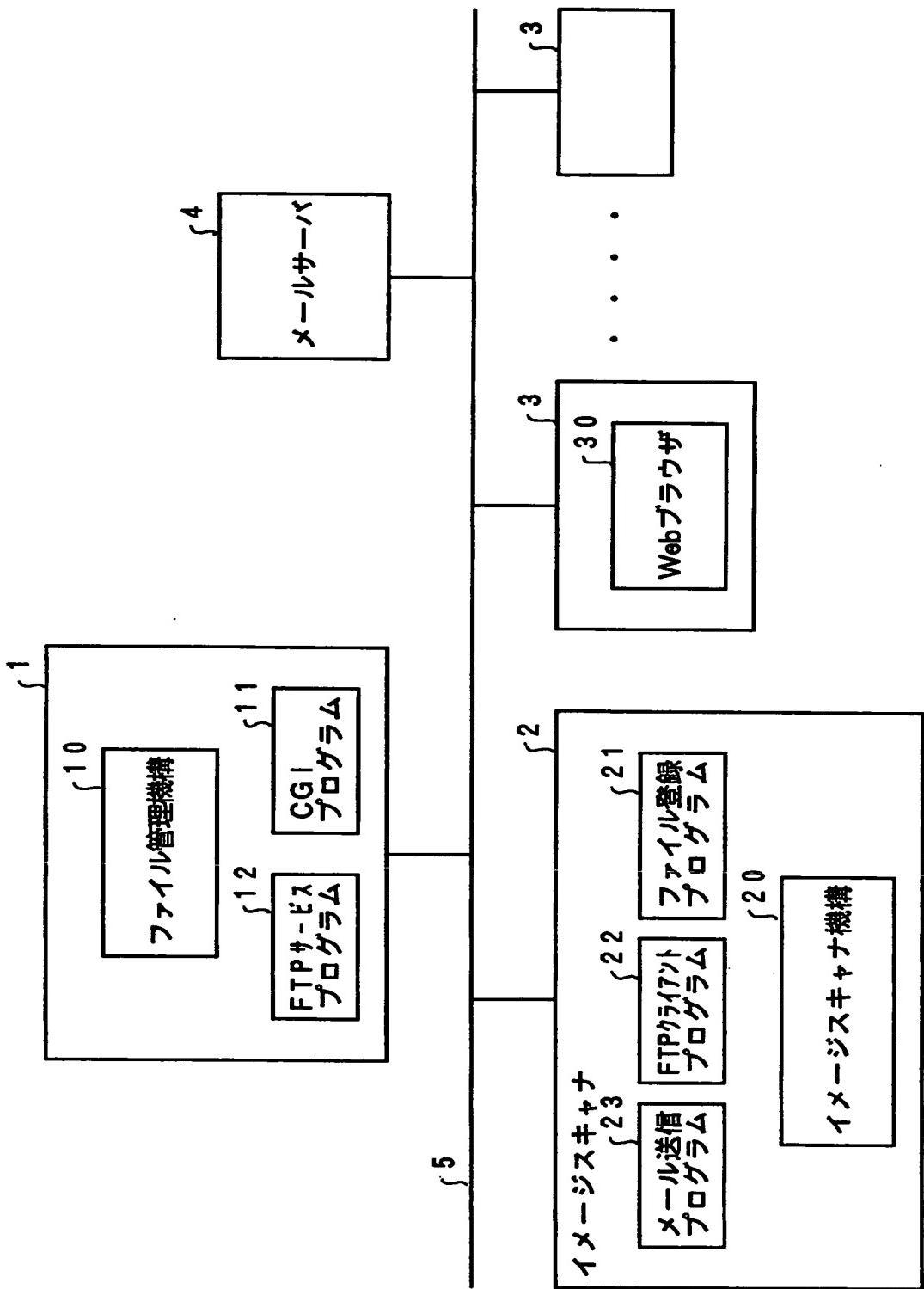
- 1 Webファイリングシステム
- 2 イメージスキャナ

- 3 端末
- 4 メールサーバ
- 5 LAN
- 10 ファイル管理機構
- 11 CGI プログラム
- 12 FTP サービスプログラム
- 20 イメージスキヤナ機構
- 21 ファイル登録プログラム
- 22 FTP クライアントプログラム
- 23 メール送信プログラム
- 30 Web ブラウザ

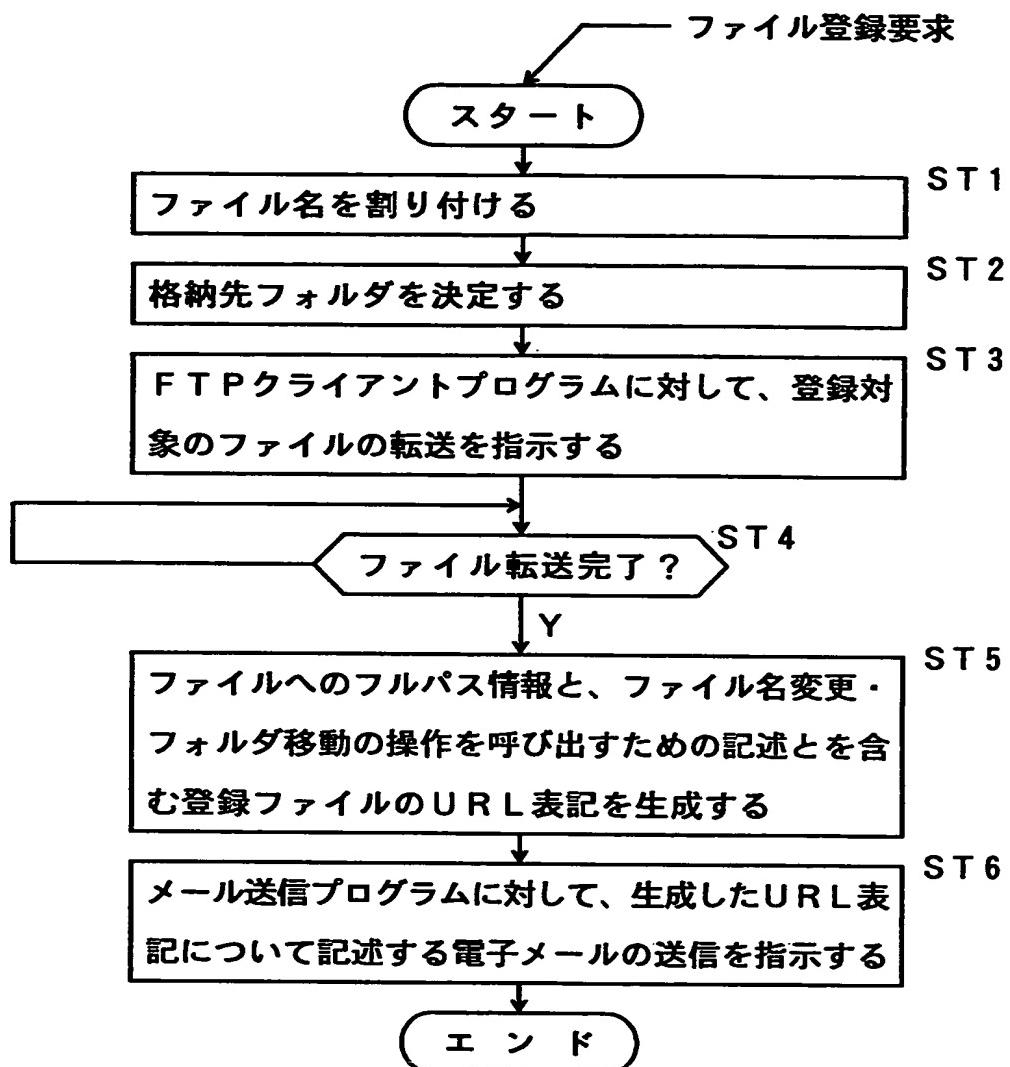
【書類名】

四面

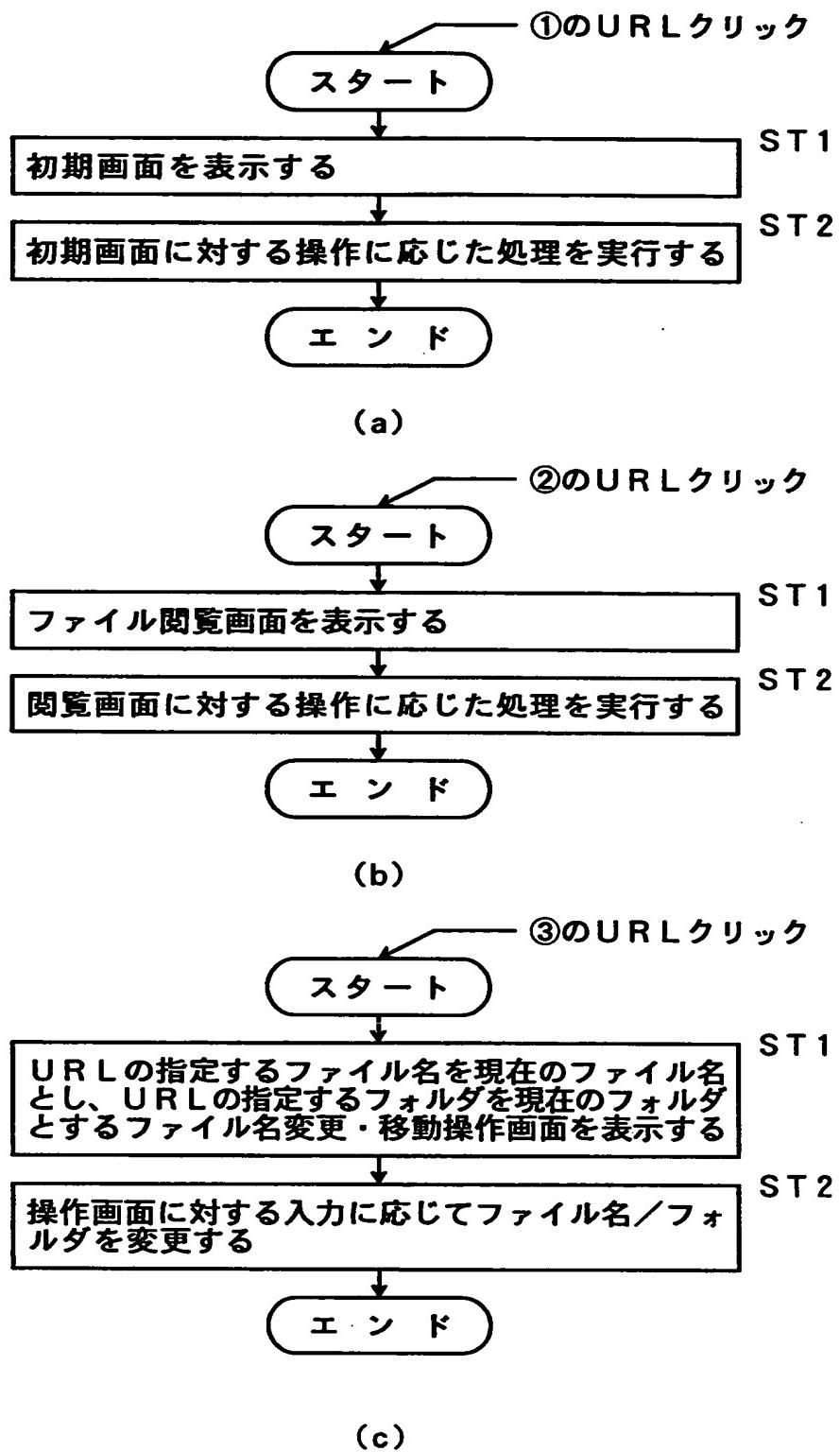
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

From : MarsLan@abcd.co.jp
Subject : MarsLan からの送信
To : miyamura@usa.unoke.ppp.co.jp
Date : Tue, 26 Apr 2000 19:56:08 +0900 (JST)
Content-Type : text/plain; charset=ISO-2022-JP

イメージデータは下記のサイトに送信されました。

<http://newniji.unoke.ppp.co.jp/lab/index.htm> ①

格納先フルダ名 : MarsLAN-test
ファイル名 : id00903739.tif

イメージデータは下記の場所に送信されました。

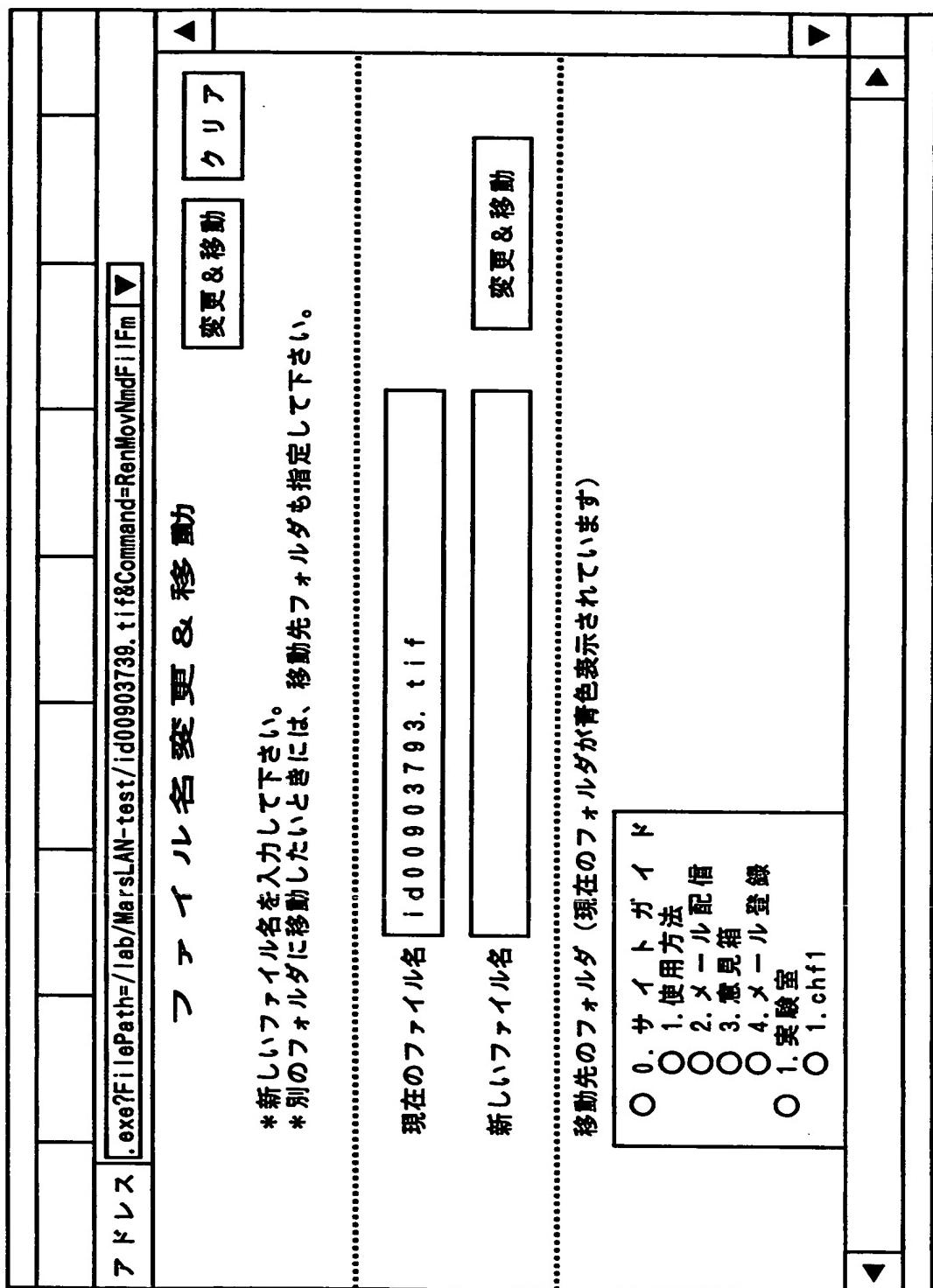
<http://newniji.unoke.ppp.co.jp/lab/MarsLAN-test/id00903739.tif> ②

イメージデータのフル名やフルダを変更したい場合には、
下記のリンクをクリックして下さい。

<http://newniji.unoke.ppp.co.jp/scripts/PPP/Filter>ShowFnCGI.exe?FilePath=/lab/MarsLAN-test/id00903739.tif&Command=RenMovAndFilFn> ③

ここに送信相手へのメッセージをどうぞ。

【図5】



【図6】

From : MarsLan@abcd.co.jp
Subject : MarsLanからの送信
To : miyamura@usa.unoke.ppp.co.jp
Date : Tue, 26 Apr 2000 19:56:08 +0900 (JST)
Content-Type : text/plain; charset=ISO-2022-JP

イメージデータは下記のサイトに送信されました。

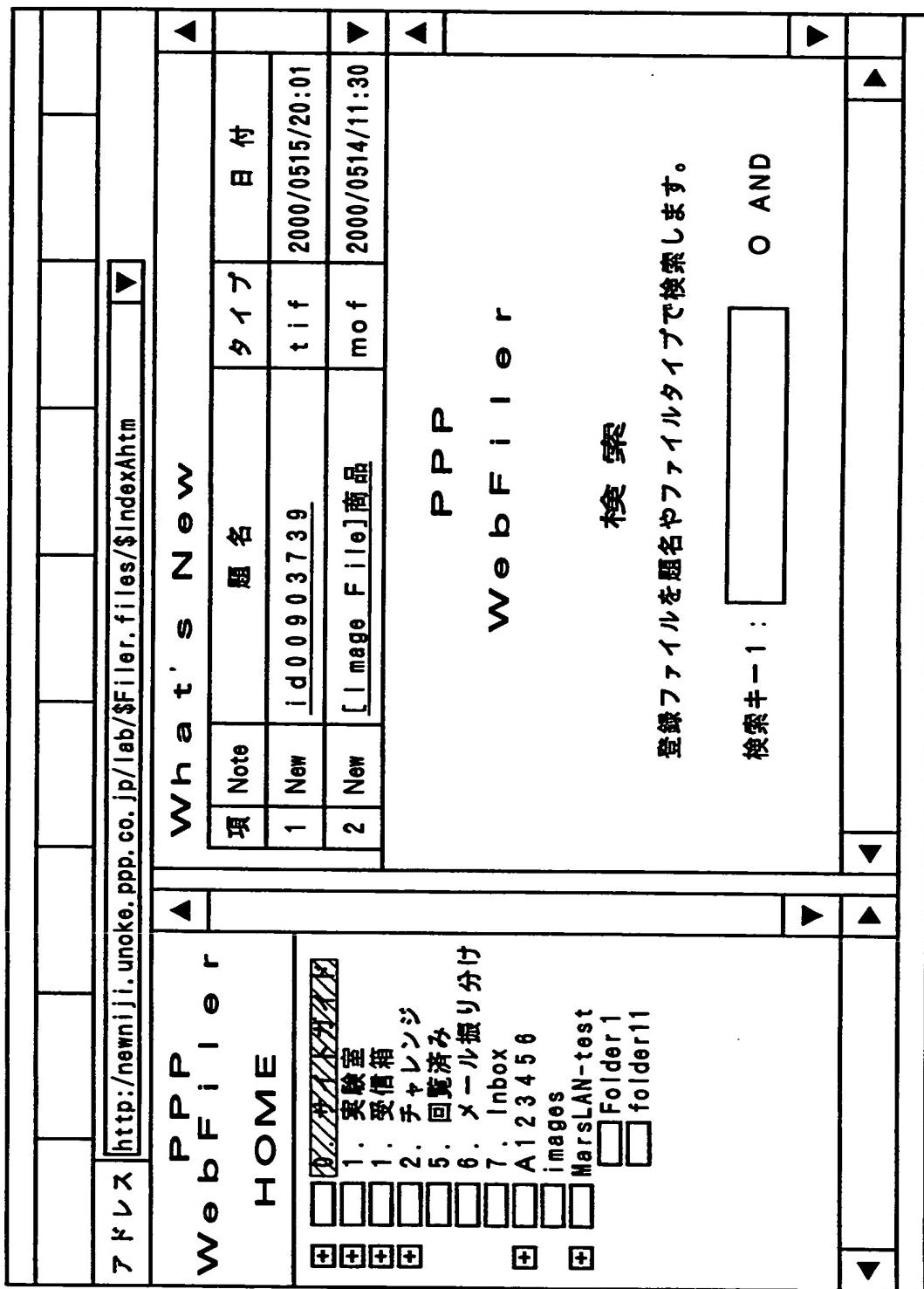
<http://newniji.unoke.ppp.co.jp/lab/index.htm>

格納先フォルダ名とファイル名とは次の通りです。

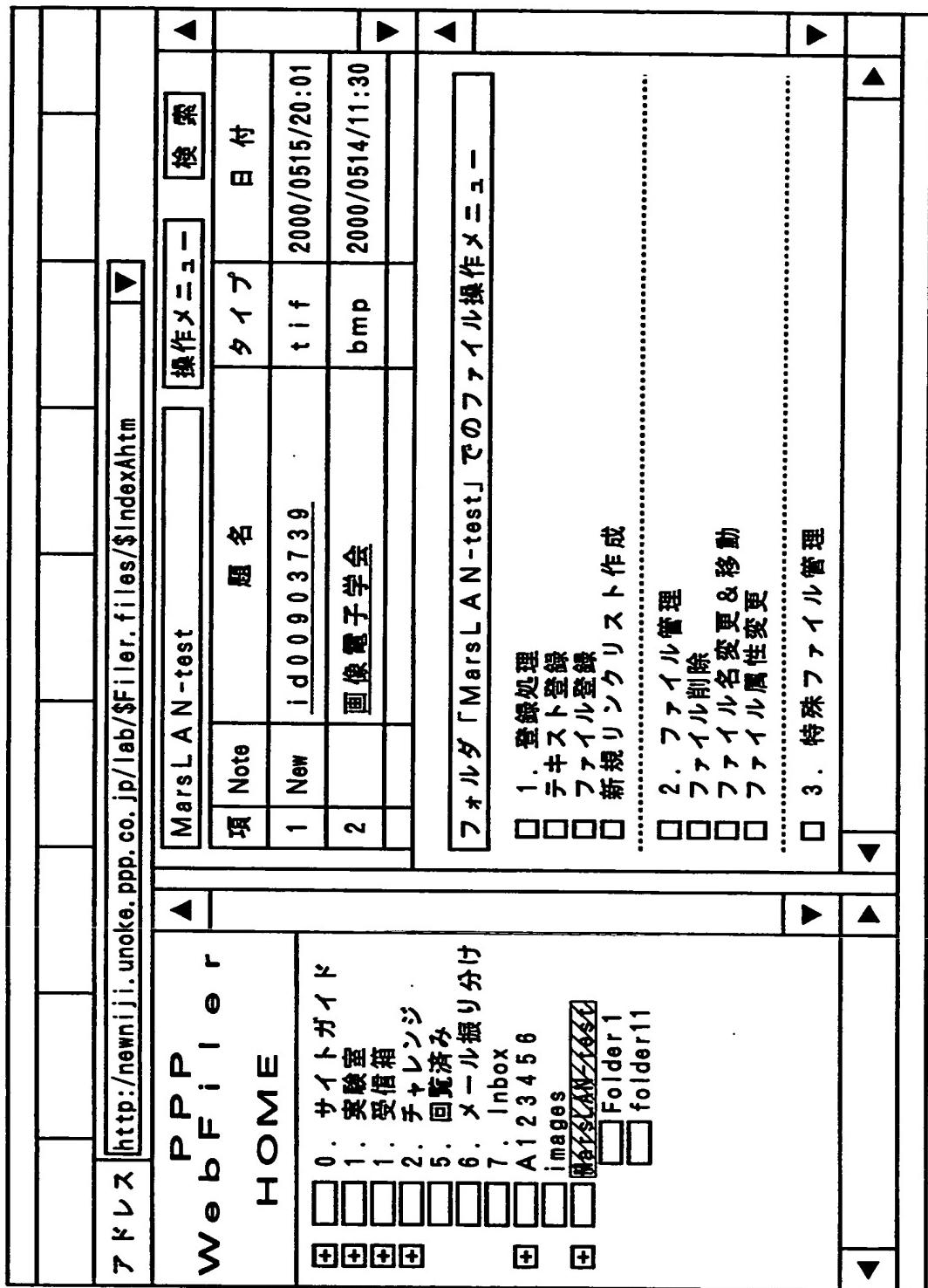
格納先フォルダ名 : MarsLAN-test
ファイル名 : id00903739.tif

ここに送信相手へのメッセージをどうぞ。

【図7】



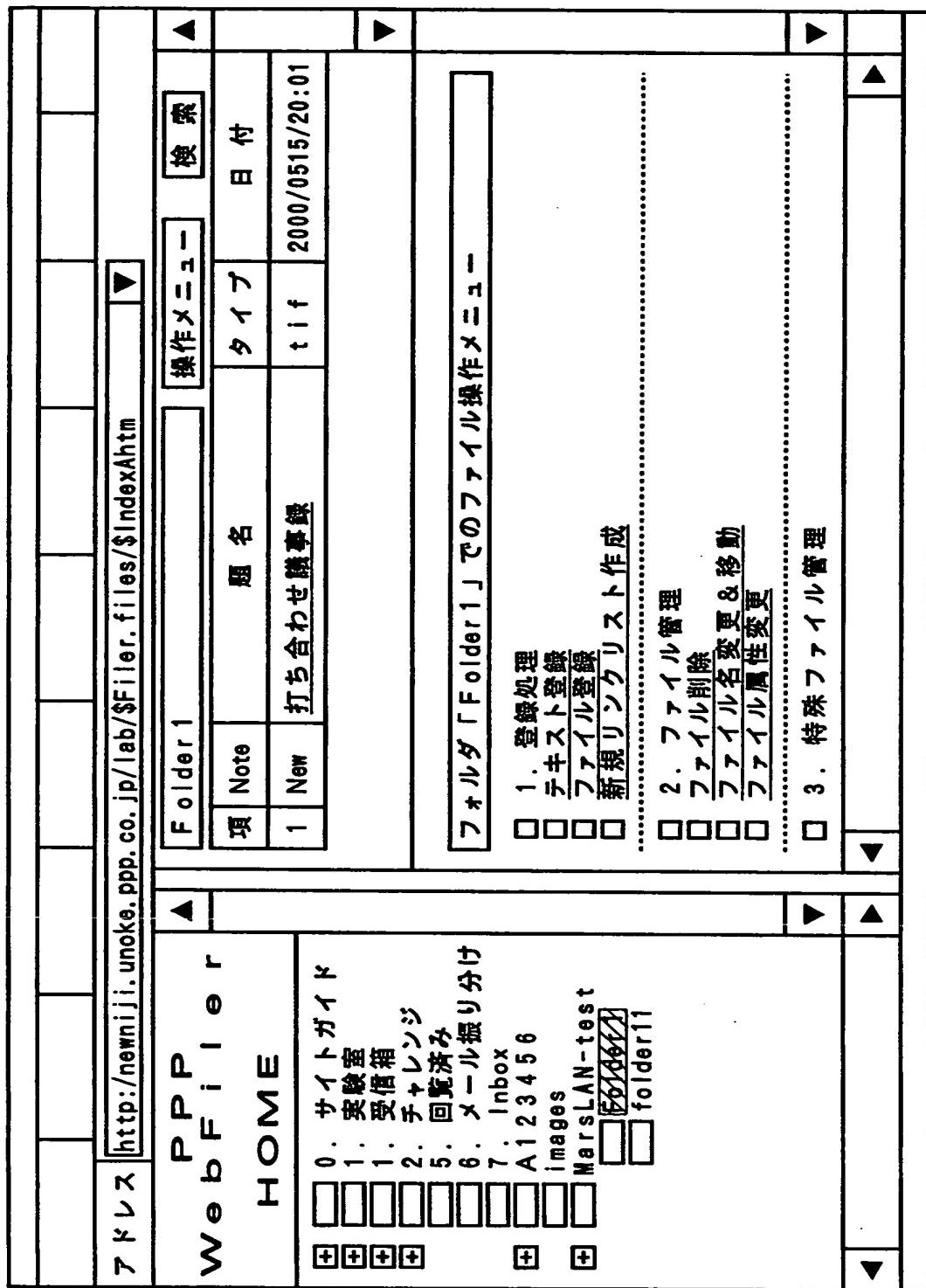
【図8】



【図9】

アドレス		http://newniji.umoke.ppp.co.jp/lab/\$Filler.files/\$IndexA.htm					
PPP		WebFiller		MarsLAN-test		操作メニュー 検索	
HOME		項	Note	題名	タイプ	日付	
		1	New	id00903739	tif	2000/0515/20:01	
		2		画像電子学会	bmp	2000/0514/11:30	
		◀ ファイル名変更 & 移動					
		*名前変更するファイルを選択し、新しいファイル名を入力して下さい。 *別のフォルダに移動したいときは、移動先フォルダも指定して下さい。					
		images		ファイル名		移動先フォルダ	
				id00903739.tif		<input type="radio"/> 0. サイトガイド <input type="radio"/> 1. 使用方法 <input type="radio"/> 2. メール配信 <input type="radio"/> 3. 意見箱 <input type="radio"/> 4. 実験室	
				Folder1		<input type="radio"/> 0. サイトガイド <input type="radio"/> 1. 使用方法 <input type="radio"/> 2. メール配信 <input type="radio"/> 3. 意見箱 <input type="radio"/> 4. 実験室	
				folder11		<input type="radio"/> 0. サイトガイド <input type="radio"/> 1. 使用方法 <input type="radio"/> 2. メール配信 <input type="radio"/> 3. 意見箱 <input type="radio"/> 4. 実験室	
						<input type="radio"/> 新しいファイル名 <input type="radio"/> 打ち合わせ議事録 <input type="radio"/> 変更&移動	

【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、ファイルを生成して、それをファイル掲示装置に登録する構成を探るときにあって、ユーザが登録ファイルを操作性よく取り扱えるようにする新たなファイル生成装置の提供を目的とする。

【解決手段】 ファイル掲示装置に登録したファイルへのフルパス情報の記述と、そのファイルを操作する所定の機能を呼び出すための記述とを含むURL表記を生成する生成手段と、その生成されたURL表記について記述するファイル登録情報を電子メールなどを使って送信先に送信する送信手段とを備えるように構成する。この構成に従って、ユーザは、通知されたファイル登録情報に記述されるURL表記をクリックするだけで、ファイル名の変更機能や格納先フォルダの移動機能などの機能を直接呼び出すことができるようになるので、ファイル名や格納先フォルダなどを簡単に変更できるようになる。

【選択図】 図4

出願人履歴情報

識別番号 [000136136]

1. 変更年月日 1990年 8月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 石川県河北郡宇ノ気町字宇野気又98番地の2
氏 名 株式会社ピーエフユー